

☆ 『気になる』児童生徒のための気づきシート～教科の視点②～

学年・児童生徒名		記入者		記入日
----------	--	-----	--	-----

**数学的活動 (算数・数学)**

- 数唱はできるが、1つ1つの数の持つ意味や表し方が理解できていない。または大小関係をとらえることが難しい。
- 繰り上がりや繰り下がりのある計算が苦手である。あるいは時間がかかる。
- 九九を唱えることはできるが、具体的な計算処理に使うことが難しい。
- いくつかの計算を必要とするなど手順を要する問題を解くのが難しい。
- 文章題を読んでも題意を的確に捉えられず、立式して考えることが難しい。
- 定規を使って線を引いたり、コンパスや分度器を使って図形を描いたりすることが苦手である。
- 空間図形（立体）を描くことが苦手である。または展開図から実際の空間図形を想像することが難しい。
- 表やグラフを作成したり、表やグラフから必要な情報を読み取ったりすることが難しい。
- 長さ、広さ、かさ、重さなどの測定や大小関係をとらえることが難しい。
- 長さ、広さ、かさ、重さ、時間、金銭などの単位についてや単位の相互関係の理解が難しい。
- 時計が読めない。あるいは時計は読めるがその意味の理解が難しい。

**材料や用具等の取扱い (図工・美術) 音楽活動 (音楽)**

- 絵画の色塗りが雑であり、線をはみ出したり塗り残しがあったりしても、気に留める様子があまりない。
- 感じたこと、想像したことを自由に絵に表すことが難しい。
- 工作作業（はさみ、折り紙、のり付け、粘土など）がぎこちなく、苦手である。
- のり付けなど、手が汚れる活動を極端に嫌がる。
- 同学年の子に比べて、絵が幼く、使う色も少ない。いつも同じような絵を描く。
- 好きな色しか使わない。（青やピンク色で描くなど。）
- 同学年の子に比べ、リコーダーや鍵盤ハーモニカなどの楽器の演奏が難しい。
- 音楽に合わせて歌ったり、リズムを取ったりすることが苦手である。
- 合唱で、みんなと声の大きさや調子を合わせることが難しい。
- 楽器の演奏が一人ではできるが、合奏になると合わせることが難しい。（周りの音を聞くことができず、自分のペースで演奏してしまう。）

**基本的な動きや技能 (体育・保健体育)**

- 整列する時に、自分が並ぶ位置がなかなか覚えられない。
- 行進など、ある隊形を保ちながら歩くとき、列をはみ出してしまう。
- 動作が非常にゆっくりである。（準備、片付け、運動場面と集団から遅れがある。）
- 指示してからの行動が、他の子に比べ遅れがちである。（言葉だけでは指示が通らず、周りの友達の動きを見て行動しているように見える。）
- 歩・走・跳の運動などの動きがぎくしゃくしていて、なめらかさに欠ける。（行進で手と足が一緒に出てしまう、スキップができないなど。）
- ボール運動が苦手である。（キャッチボールができない、はずむボールをつかめないなど。）
- バランスをとる運動が苦手である。（つま先立ちや片足立ちができない、すぐにフラフラするなど。）
- ダンスや体操などを模倣したり覚えたりすることが苦手である。
- ゲームや遊びのルールや順番などを守ることができなかったり、自分が勝たないと気が済まなかつたりする。

\*子どもの困難さに気づき、支援方法を検討するための参考資料としてご活用ください。